苅田港湾事務所におけるSDGsの達成に資する取組について

私ども苅田港湾事務所では、以下の取組をはじめとする各種施策通じてSDGs（持続可能な開発目標）の達成に貢献するとともに、苅田港の港湾整備と港湾振興活動を通じ、地域の一層の発展を図って参ります。

苅田港カーボンニュートラルポート形成への取組

苅田港は、陸、海、空の交通インフラの結節点という好条件の地域にあって、自動車、セメント、電力等の国内主要企業を中心に数多くの工場が集積する臨海工業エリアを形成しています。

港湾地域の面的・効率的な脱炭素化に取り組むとともに、企業等と連携し、水素等サプライチェーンの拠点としての受入れ環境の整備を行い、苅田港のカーボンニュートラルポート形成を目指していきます。

苅田港CNP推進会の様子

苅田港CNP形成のイメージ

【目標】 CO2排出量：2013年度 約953万トン／年 → 2020年度 約740万トン／年 → 2030年度 46%削減（2013年度比） → 2050年度 実質ゼロ

岸壁・航路・防波堤の整備

苅田港の臨港エリアには、自動車・セメント・電力等産業の国内主要企業をはじめ、多くの港湾利用型企業が立地しています。

このため、大型船舶が安全に出入港し離着岸できる様に、大型岸壁の整備、航路・泊地の増深・拡幅、防波堤の延伸を行っています。

大型岸壁に着岸した船舶の様子

新たに整備された大型岸壁

防波堤のケーソン据付の様子

【目標】 事業進捗率：2020年度 約78% → 2028年度 100%(整備完了)

出前講座・現場見学会の実施

苅田港湾事務所では、港の重要性を理解してもらうための「出前講座」や、実際の工事現場を見学する「現場見学会」等を随時実施しています。

地元の小学生には防波堤模型等の見学や港の役割を教える座学の実施、さらに大学生には港湾へ興味を持ってもらうことによる将来の担い手育成の実施に取り組んでいます。

防波堤模型を見学している小学生

浚渫現場を見学している大学生

【目標】 実施回数：2022年度：2回／年 → 2030年度：3回程度／年